

事業目的

○ペットの慢性腎臓病は不可逆的な疾患であり、早期発見のみが健康寿命を延ばす唯一の手段。
○慢性腎臓病は、高齢猫の死因第1位であり、15歳以上の猫の81%が罹患する。また、犬でも死因の第3位。
○採血による血液検査は高精度であるが、猫と飼い主の負担が大きく、高額で、頻繁な利用が難しい。
○在宅尿検査はpHや尿の色などによる検査で精度が低く信頼性に欠ける。
○猫・犬は、1年で約4歳(人年齢換算)のペースで年を重ねる。年1回の検査では不十分。
⇒ ⇒ 猫・犬の飼い主が、**自宅で手軽に・低価格で・高頻度に精度の高い腎機能チェックを行える手段を提供**し社会実装する。

事業内容

NEDO-NEP500で取り組み築き上げた独自技術である「酵素法(HPA3法)」による猫の尿中のD-アミノ酸測定値に基づく腎臓病のリスク判定事業をさらに磨き上げて実用レベルを高度化する(コスト低減、再現性向上、検体処理数・スピードの向上を図る)。

さらに、尿の回収を容易にする猫砂からのアミノ酸回収技術を開発することで猫の未病検診をさらに多くの飼い主に届くようにする(シェアを拡大する)。

また、犬への適応拡大を並行して進めることで、犬猫向け在宅腎疾患リスク判定サービスとしての事業を加速する(事業規模を大きくする)。

事業成果

事業者情報

作成/更新:2026年9月

Dアミノ酸ラボ株式会社
(名古屋大学発スタートアップ)

所在地:愛知県春日井市
設立年:2020年7月
HP:<https://d-aminoacidlabo.com/>



概要図等

